

証券コード：4228

第74期 報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

株主のみなさまへ



代表取締役社長

柏原正人

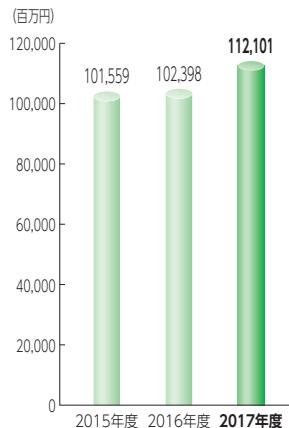
トップメッセージ

中期経営計画

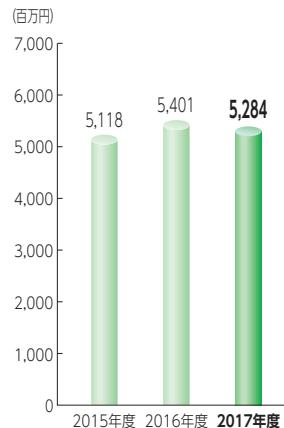
「Make Innovations 60」の

当期の世界経済は、成長性をもとに金融政策の転換機運が高まり、世界各国での政治面の変化に左右されるものの、欧米を中心に総じて堅調に推移しました。一方、エネルギー政策や環境対応に地政学リスク増も加わって期央より原油価格が上昇し、石油化学品や他の素材価格の値上がり影響が顕在化してきました。日本経済におきましては、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調で推移し、株価も上昇しましたが、GDPやインフレ目標には達しないレベルとなりました。また、人手不足などに伴う人件費や物流費の上昇も続いています。日本の発泡プラスチック業界におきましては、原

売上高



営業利益



2年目を終えて

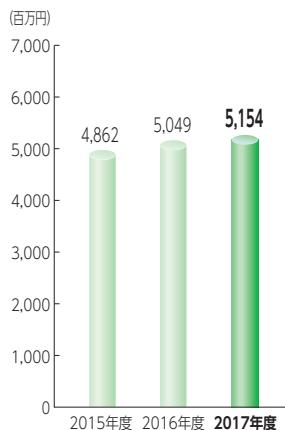
燃料価格が年度後半から値上がりに転じ、末端需要の盛り上がりにも欠ける状況となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは中期経営計画「**Make Innovations 60**」(2016年度～2018年度)の2年目を迎え、「事業ポートフォリオ変革」と「収益構造革新」を進めるべく、施策を着実に推進しております。当期は、自動車、家電・IT関連の工業分野がグローバルを中心に伸長しましたが、さらなる原燃料価格上昇や物流費増加の影響に加え、開発力強化のための設備投資や経費増が収益を圧迫しました。

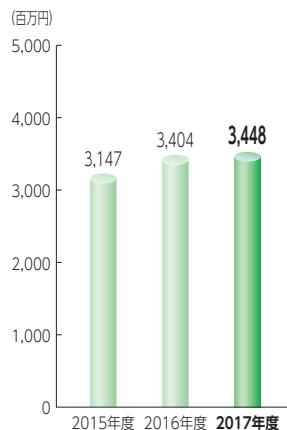
その結果、当期の業績は、連結売上高は1,121億1百万円、連結営業利益は52億8千4百万円、連結経常利益は51億5千4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は34億4千8百万円となり、連結経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高益となりました。

当期の期末配当金につきましては、1株につき15円とさせていただきます。これにより、既にお支払いしております中間配当金(1株につき12円)と合わせまして、当期の年間配当金は前期より3円増額の1株につき27円となります。

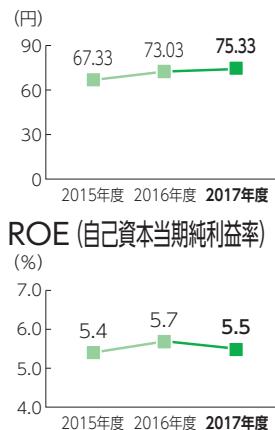
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



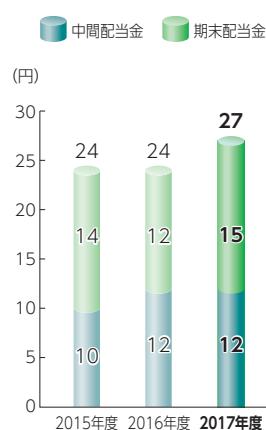
1株当たり当期純利益



ROE (自己資本当期純利益率)



配当実績



(注) 2016年10月に2株を1株とする株式併合を実施しており、株式併合前の1株当たり当期純利益・配当は遡及修正しております。

トップメッセージ

今後の見通しにつきましては、中国など新興国の経済動向に対する懸念、米国政権の政策動向による影響や、国内では人手不足に起因する物流費や経費の価格上昇などにより、当社を取り巻く環境は不透明な状況が続くことが予想されます。

当社グループでは中期経営計画「**Make Innovations 60**」の最終年度を迎え、「事業ポートフォリオ変革」と「収益構造革新」を進め、仕上げの年として計画数値達成にこだわりを持って推進してまいります。具体的には、「ST-LAYER」や「エラストイル」など戦略商材については、お客様へのきめ細かいニーズ対応を徹底し、上市や拡販のスピードアップをはかります。グローバル事業についても、数値管理の徹底で、早期に収益貢献に結びつくよう事業展開施策を進めるとともに、国・地域に対応したマネジメント体制を構築します。

また、原材料価格の変動に対応した適切な製品価格の改定を行うとともに、高利益体質の構築に向け、低採算事業の見直しを行い、生産性向上や物流費削減などグループ全体のコストダウンに引き続き取り組みます。

次期の見通しにつきましては、連結売上高1,200億円、連結営業利益68億円、連結経常利益66億円、親会社株主に帰属する当期純利益44億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2017年度の事業別概況 (連結)



生活分野 (ヒューマンライフ)

売上高 66,128百万円
 売上構成比 59.0%

農水産関連の需要は天候不順の影響などもあり引き続き低調でしたが、食品容器関連は電子レンジ加熱に対応した耐熱容器などの需要が好調となり、建材・土木関連も民間向け物件やインフラ基盤整備の活発化など堅調に推移しました。主力製品の売上数量では、「エスレンビーズ」は微減となり、「エスレンシート」は前期を上回りました。売上金額は製品価格の改定により、ともに前期を上回りました。



レンジアップ食品容器

売上高



工業分野 (インダストリー)

売上高 45,972百万円
 売上構成比 41.0%

家電・IT関連では、「ピオセラン」などを用いた液晶パネル搬送資材用途において、台湾や中国で好調となり、「テクポリマー」も、液晶パネルなどの光拡散用途において、顧客の需要が回復し、前期から売上が増加しました。自動車関連では、「ピオセラン」などを用いた部材用途で採用部位が拡大し、乗用車からバス・トラックなどの大型車への展開も加わって、大きく伸長しました。医療・健康関連では、「テクノゲル (ST-gel)」が、低周波治療器用パッドなどで国外向けに伸長しました。



テクポリマー (光拡散用途)

売上高



トピックス

セルペット食品容器が日本航空様の機内食用途で採用

PET樹脂発泡体「セルペット」食品容器が、日本航空株式会社様の国際線の機内食用途で採用され、2017年12月以降のフライトでお目見えしています。

「セルペット」食品容器は、220℃の耐熱性を持ち機内での加熱調理に使用できるだけでなく、保温性に優れオープンから取り出した後も長い時間温かい食事をお楽しみいただけます。また、発泡体の特性である断熱性により容器外側が熱くなりやすく、乗客の皆さまが安心して容器を手にすることができ、サービスを提供する客室乗務員の作業性向上にもつながります。さらに、従来の機内食容器と比較して重量の軽量化を実現したことで、環境配慮にも貢献することができました。



機内食用途の展示

完全子会社化で「積水化成品ヤマキュウ」に社名変更

2016年10月に積水化成品グループとなりました「株式会社ヤマキュウ」の出資比率を100%に引き上げ、2018年4月2日付で完全子会社化しました。同時に社名もグループ経営を推し進め競争力を高めるために、積水化成品ブランドを冠した「株式会社積水化成品ヤマキュウ」に変更しました。

今後は、同社のトラック・バス・建機用の部材供給網も活かしながら、積水化成品グループの人材・知見を結集し、プラスチック素材の開発力と成形加工技術を融合して、より高機能な製品を提供していきます。



トラック部材



積水化成品ヤマキュウ 工場全景

「グリーンウェイブ オフィシャル・パートナー」に任命

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) から当社が「グリーンウェイブ オフィシャル・パートナー」に任命され、2018年3月14日開催の「地域フォーラムin東京」(主催:UNDB-J、環境省)において任命式が行われました。

当社は、「グリーンウェイブ」への登録を広く呼びかけ、活動登録を一定数以上集約するなどの「登録推進」に寄与する取り組みを行う企業」として選定されたものです。

「グリーンウェイブ」とは国連の定める「生物多様性の日」に世界各地の子供たちの手で植樹などを行うことにより、その活動が地球上を波のように広がっていく、つまり「緑の波(グリーンウェイブ)」をつくろうという国連生物多様性条約が提唱する世界共通の取り組みで、当社は2012年から活動を続けています。



任命式



任命書

琵琶湖博物館のリニューアルサポーター企業として登録

地域密着型の社会貢献活動の一環として、積水化成工業(株)・(株)積水化成滋賀・(株)積水化成近江の3社が所在する滋賀県にある滋賀県立琵琶湖博物館の「新琵琶湖博物館の創造」の趣旨に賛同し、リニューアルサポーター企業として登録されました。

琵琶湖博物館は、湖と人の共存関係を考える材料と機会を提供する生涯学習施設として1996年に開設され、当社グループとさまざまなイベントや勉強会などにおいて活発な交流があります。また、開館20周年を迎えた2016年より大幅リニューアルを実施されています。

今後も滋賀県だけに留まらず、当社グループのある各地域で、地域密着型の社会貢献活動を積極的に推進していきます。



琵琶湖博物館銘板



感謝状贈呈式

トピックス

国際プラスチック展示会「NPE 2018」に出展

2018年5月7日～11日に米国フロリダ州オーランドで開催された、世界三大プラスチック総合展である「NPE 2018 The Plastics Show」に出展しました。

当社ブースは、「Your Partner for a Better Future (未来(あした)を創るパートナー)」をコンセプトに、「ピオセラン」や「テクポリマー」などに加え、「New Developments」コーナーでは当社独自素材による付加価値創造技術を紹介しました。

特に、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)複合発泡成形体「ST-LAYER」のドローン展示は、さまざまな用途に活用が期待されると注目を集めました。

展示会開催中には、6万5千名余りのご来場があり、当社ブースにおいても600名を超える方々が訪れ、多数の活発な商談を通して、当社ブランドの浸透がはかれた有意義な展示会となりました。今後は、来場者様からのご要望にソリューション提案で応え、グローバル規模での事業拡大につなげていきます。



エラストイル



「NPE2018」当社ブース



ST-LAYER

第74回定時株主総会のご報告

報告事項

1. 第74期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件
上記の内容を報告しました。
2. 会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
上記の内容を報告しました。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき15円と決定しました。

第2号議案 取締役9名選任の件

原案どおり承認可決されました。

（重任）柏原正人、池垣徹哉、廣田徹治、辻脇伸幸、塩田哲也、
網本勝彌、馬場宏之

（新任）佐々木勝巳、窪田森雄

なお、網本勝彌、馬場宏之、窪田森雄は、社外取締役です。

第3号議案 社外取締役の報酬等の額改定の件

原案どおり承認可決されました。

お知らせ

- 期末配当金（1株につき15円）は、2018年6月25日からお支払いしますので、同封の「期末配当金領収証」によりお受け取りください。なお、銀行などへの口座振込みをご指定の方は、「期末配当金計算書」および「配当金振込先ご確認のご案内」によりご確認ください。
- 「期末配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様にも「期末配当金計算書」を同封しています。配当金をお受け取りになられた後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	第74期 (2018年3月31日現在)	第73期 (2017年3月31日現在)	期別 科目	第74期 (2018年3月31日現在)	第73期 (2017年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	50,431	46,706	流動負債	47,470	39,667
現金及び預金	5,123	6,271	支払手形及び買掛金	17,418	14,991
受取手形及び売掛金	30,367	27,072	電子記録債務	8,530	7,924
電子記録債権	3,001	1,956	短期借入金	12,124	9,451
たな卸資産	10,432	9,589	その他	9,397	7,299
その他	1,506	1,816	固定負債	18,157	18,639
固定資産	81,343	72,963	長期借入金	6,972	8,973
有形固定資産	53,849	50,513	退職給付に係る負債	3,011	2,878
建物及び構築物	15,548	16,052	その他	8,173	6,787
機械装置及び運搬具	11,330	10,899	負債合計	65,628	58,306
土地	20,955	20,906	(純資産の部)		
その他	6,014	2,655	株主資本	52,352	50,627
無形固定資産	1,037	995	資本金	16,533	16,533
投資その他の資産	26,455	21,454	資本剰余金	16,544	16,544
投資有価証券	19,844	16,222	利益剰余金	20,699	18,351
退職給付に係る資産	5,194	3,768	自己株式	△1,425	△802
その他	1,416	1,462	その他の包括利益累計額	13,061	10,007
資産合計	131,774	119,670	その他有価証券評価差額金	10,168	7,495
			土地再評価差額金	1,479	1,479
			為替換算調整勘定	235	187
			退職給付に係る調整累計額	1,179	845
			非支配株主持分	731	729
			純資産合計	66,145	61,363
			負債・純資産合計	131,774	119,670

POINT

- 受取手形及び売掛金の増加などにより、流動資産が37億2千4百万円増加しました。
- 有形固定資産や投資その他の資産の増加などにより、固定資産が83億7千9百万円増加しました。
- 支払手形及び買掛金や短期借入金の増加などにより、流動負債が78億3百万円増加しました。
- 長期借入金の減少などにより、固定負債が4億8千2百万円減少しました。
- 純資産は、47億8千2百万円増加し、自己資本比率は49.6%となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

期別 科目	第74期 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)	第73期 (自2016年4月1日 至2017年3月31日)
売上高	112,101	102,398
売上原価	85,479	77,091
売上総利益	26,622	25,307
販売費及び一般管理費	21,337	19,905
営業利益	5,284	5,401
営業外収益	440	407
営業外費用	570	759
経常利益	5,154	5,049
特別利益	136	122
特別損失	52	190
税金等調整前当期純利益	5,238	4,980
法人税、住民税及び事業税	1,461	1,232
法人税等調整額	324	335
当期純利益	3,451	3,412
非支配株主に帰属する当期純利益	2	7
親会社株主に帰属する当期純利益	3,448	3,404

POINT

- 自動車、家電・IT関連の工業分野がグローバルを中心に伸長しましたが、さらなる原燃料価格上昇や物流費増加の影響に加え、開発力強化のための設備投資や経費増が収益を圧迫しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期別 科目	第74期 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)	第73期 (自2016年4月1日 至2017年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	5,771	7,421
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,587	△ 5,505
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,354	△ 2,953
現金及び現金同等物に 係る換算差額	21	5
現金及び現金同等物の 増減額	△ 1,148	△ 1,030
現金及び現金同等物の 期首残高	6,266	7,137
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	161
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△ 1
現金及び現金同等物の 期末残高	5,117	6,266

POINT

- 営業活動により得られた資金は、売上債権の増減額の影響などにより、前期に比べ16億5千万円減少しました。
- 投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出の増加などにより、前期に比べ8千1百万円増加しました。
- 財務活動により使用された資金は、長期借入れによる収入の増加などにより、前期に比べ15億9千8百万円減少しました。

連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

第74期（自2017年4月1日 至2018年3月31日）

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額					非支配 株主分 持	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金	土 地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当 期 首 残 高	16,533	16,544	18,351	△ 802	50,627	7,495	1,479	187	845	10,007	729	61,363
当 期 変 動 額												
剰 余 金 の 配 当			△ 1,100		△ 1,100							△ 1,100
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			3,448		3,448							3,448
連結除外による減少					-							-
連結子会社増加による 減 少					-							-
自 己 株 式 の 取 得				△ 622	△ 622							△ 622
自 己 株 式 の 消 却					-							-
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)						2,672	-	47	333	3,053	2	3,056
当 期 変 動 額 合 計	-	-	2,347	△ 622	1,725	2,672	-	47	333	3,053	2	4,782
当 期 末 残 高	16,533	16,544	20,699	△ 1,425	52,352	10,168	1,479	235	1,179	13,061	731	66,145

株式の状況 (2018年3月31日現在)

■発行可能株式総数	124,751,000株
■発行済株式の総数	46,988,109株
■株主数	5,012名

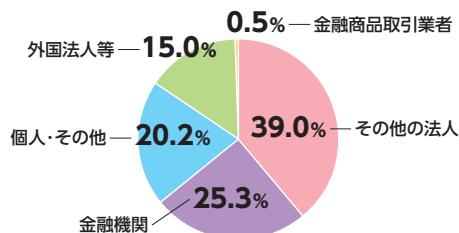
大株主

株主名	所有株式数 千株	所有比率 %
積水化学工業株式会社	9,855	21.74
第一生命保険株式会社	3,031	6.68
積水化成製品従業員持株会	1,727	3.81
積水樹脂株式会社	1,419	3.13
大同生命保険株式会社	1,418	3.12
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,400	3.08
株式会社エフピコ	1,348	2.97
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,327	2.92
旭化成株式会社	1,250	2.75
デンカ株式会社	1,250	2.75

(注) 1.当社は自己株式を1,668千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2.株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日をもって、商号を株式会社三菱UFJ銀行に変更しました。

所有者別分布状況 (所有比率)

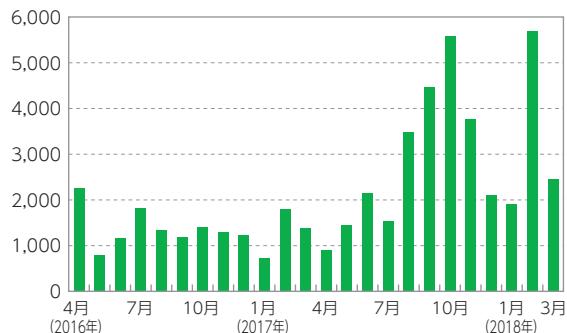


(注) 所有比率は、自己株式(1,668千株)を控除して計算しております。

株価・出来高の推移 (東京証券取引所市場第1部)

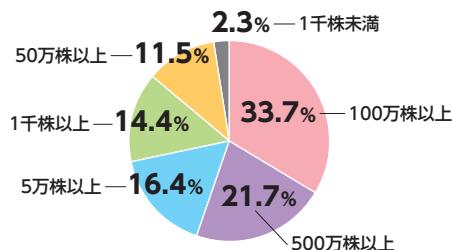


■ 出来高 (千株)



(注) 2016年10月1日を効力発生日として2株を1株とする株式併合を実施しており、株式併合前の株価・出来高は遡及修正しております。

所有株数別分布状況 (所有比率)



会社概要

会社の概要

(2018年3月31日現在)

商号	積水化成工業株式会社 (英文商号) (Sekisui Plastics Co.,Ltd.)
本社	大阪市北区西天満二丁目4番4号
設立年月日	1959年10月1日
資本金	16,533,476,176円
グループ従業員数	2,101名
営業品目	<セグメント別>

生活分野	市場・用途	農水産資材、食品包装材、 流通資材、建築資材、土木資材
	主な製品・商品	エスレンビーズ、エスレンシート、 エスレンウッド、インターフォーム、 これら成形加工品 ESダンマット、エスレンブロックなど
工業分野	市場・用途	自動車部材、車輛部品梱包材、 産業部材、産業包装材、 電子部品材料、医療・健康用材料
	主な製品・商品	ピオセラン、ライトロン、 ネオミクロレン、セルペット、 テクポリマー、テクノゲル、 テクヒーター、エラストイル、 フォーマック、ST-LAYER、 これら成形加工品など

取締役および監査役 (2018年6月22日現在)

取締役

代表取締役社長	柏原正人
取締役	池垣徹哉
取締役	廣田徹治
取締役	辻脇伸幸
取締役	塩田哲也
取締役	佐々木勝巳
社外取締役	網本勝彌
社外取締役	馬場宏之
社外取締役	窪田森雄

監査役

常勤監査役	守屋雅之
常勤監査役	宮下幸一
社外監査役	濱部祐一
社外監査役	長濱守信
社外監査役	高坂敬三

事業所所在地

(2018年3月31日現在)

本社	〒530-8565 大阪市北区西天満二丁目4番4号 (堂島関電ビル) TEL 06 (6365) 3014
東京本部	〒163-0727 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 (小田急第一生命ビル) TEL 03 (3347) 9615
総合研究所	〒632-8505 奈良県天理市森本町670番地 TEL 0743 (65) 0504

ホームページ
アドレス <http://www.sekisuiplastics.co.jp>

● **グループ会社 (グローバル)**



● **グループ会社 (日本)**

株式会社 積水 技研
 株式会社 積水化成製品 北海道
 株式会社 積水化成製品 東北
 株式会社 積水化成製品 東部
 株式会社 積水化成製品 関東
 株式会社 積水化成製品 群馬
 株式会社 積水化成製品 埼玉

株式会社 積水化成製品 ヤマキユウ
 株式会社 積水化成製品 中部
 株式会社 積水化成製品 近江
 株式会社 積水化成製品 滋賀
 株式会社 積水化成製品 堺
 株式会社 積水化成製品 天理
 株式会社 積水化成製品 山口

株式会社 積水化成製品 四国
 株式会社 積水化成製品 九州
 株式会社 積水化成製品 沖縄
 セキスイウレタン加工株式会社
 湘南 積水工業株式会社

経営理念

われわれ積水化成品グループは、
人間尊重と相互信頼を基本に全員経営を実践し
“新しい幸せ”を目指して
常にイノベーションをし続けます

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日、期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	電子公告 公告の内容は、当社ホームページにおいてご覧ください。 http://www.sekisuiplastics.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
※株主様のお問合せ先	積水化成品工業株式会社 管理本部 法務部 電話06-6365-3014



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。